

(株)本多工業・ダスタリー事業部

未来を創造する力は無限にある!

ベッドマットレスの出張クリーニングを実現



代表取締役
松尾 秀二 氏

若年層を中心にベッドで寝起きする人々は確実に増加している。しかし、天日干しが困難なベッドマットレスがダニの温床となっている、という事実はあまり知られていない。例えば昨今、病院や高齢者の施設を中心に集団感染を引き起こしている皮膚病「疥癬」も寝床のダニが原因だ。ダニの密集地帯ともいえるベッドマットレスのクリーニングをFC展開しているのが、株式会社本多工業ダスタリー事業部である。布団をクリーニングしてもマットレスにダニがいれば意味がないのだから、このような需要は多いはずだ。

ベッドにはスプリングが入っているため、水洗いするには困難だ。無理やり水洗いした場合でも、内部を乾燥するまでは時間がかかる。即座に乾燥しなければスプリングが錆びる。

同社が手掛ける「ベッドクリーニング55」は、高温高压の蒸気による湿熱消毒クリーニングだ。

手順としては、抗菌性の環境型洗剤（合成洗剤は使用できない）を散布し表面を洗浄し、約100℃の蒸気を高压で噴射する。これによってマットレス内にも蒸気を挿入でき熱消毒と同等の効果がもたらされる。その後は専用クリーナーによる吸引、独自開発の乾燥灯を用いて瞬時に完全乾燥を行い、作業時間は約55分だ。

これによってベッドマットレスの汚れや臭い、ダニ、カビ、雑菌を除去できる。その日から快適な眠りにつけるのも嬉しい。

その他にも布製ソファやイス及びカーペットなどのクリーニングにも応じる。特にソファは、クリーニングは不可能という印象が強い。実際には、廃棄することを覚悟で水洗いを試みても、中に入っ

ている詰め物(スポンジ等)が水分を吸収し変形し、また内部も乾燥出来ず元に戻らなくなり、使い物にならなくなる事も少なくないようだ。

「ペットの尿の臭いで眠れないほどだったマットレスが元通りになった」—高価なベッドを捨てるしかないと思っていた顧客からは、しばしばこのような感謝の声が寄せられている。

顧客の中には、クリーニング店やベッドメーカーに問い合わせるが、断られた経験を持つ人が多い。それもそのはずで、職業別電話帳の「クリーニング」のページにも「布団」や「カーペット」という商品は記載されているが、「ベッドマットレス」は見当たらない。「誰に頼んでよいのか分からない」というのが現状であろう。最近では個人だけでなく、不特定多数の人が利用するホテルや宿泊設備付の研修施設また、シルバー施設や病院などからの需要が高まっている。また、引越センターからの受注も増えだした。

全国展開から現在二九店舗の加盟店網を築くに至った本多工業ダスタリー事業部。

「加盟店を増やし、実績を上げることで、タウンページに“ベッドマットレスのクリーニング”の欄を作りたい」と、将来の展望を語る松尾秀二社長。最近では韓国や中国からの事業の問い合わせもあるそうだ。

マットレスをクリーニングする、という発想はまだまだ浸透していないだけに、潜在的な需要は計りしれない。また、引越シーズンの春・秋に集中するハウスクリーニングに比べ、年間を通してニーズのあるのがベッドマットレスのクリーニングである。松尾社長の「タウンページの夢」が実現する日も遠くなくさそうだ。